



読書の醍醐味は知的好奇心を満足させてくれるところです

新刊案内

公益財団法人

河本文教福祉振興会より寄贈された本です

エリザベス・レアード作、石谷 尚子訳（評論社）の4作品を紹介！

※『戦場のオレンジ』※『世界一のランナー』※『路上のヒーローたち』※『ぼくたちの砦』

今は行けないけど、旅した気分を味わおう！！

『いちばん美しい季節に行きたい日本の絶景 365日』 TABIZINE/著 発行/パイインターナショナル
『大切なことに気づく 365日名言の旅』 WRITES PUBLISHING/編 発行/ライツ社

国際化の時代に生きるためのQ&A 発行/創元社

知ることが大切な問題でありながら分かりにくい主題を、Q&A方式で楽しく学べる学習書。

- 『 1 移民や難民ってだれのこと?』 マイケル・ローゼン/著
- 『 2 ジェンダーってなんのこと?』 ジュノ・ドーソン/著
- 『 3 フェミニズムってなんのこと?』 ルイーズ・スピルズベリー/著
- 『 4 合意ってなに?なぜだいじなの?』 ルイーズ・スピルズベリー/著
- 『 5 どうして肌の色が問題になるの?』 ニケシュ・シュクラ著

AI時代を生き抜くプログラミング的思考が身につくシリーズ（土屋誠司/著 発行/創元社）

- 『 1 AI〈人工知能〉のきほん』
- 『 2 プログラミングのきほん』
- 『 3 デジタルリテラシーのきほん』

LGBTってなあに？

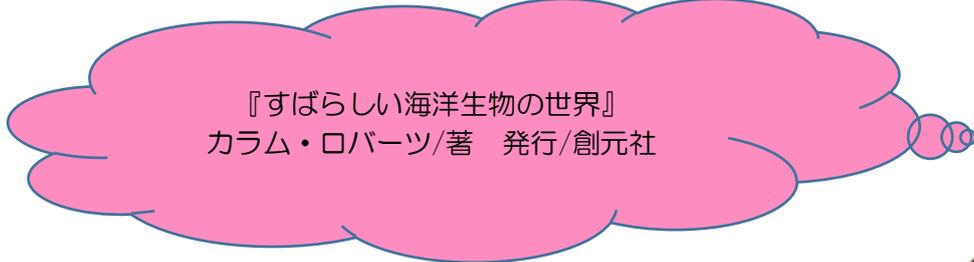
『LGBT なんでも聞いてみよう』 QWRC/著 発行/子どもの未来社
『マンガレインボーKids』 発行/子どもの未来社



- 『なんのために学ぶのか』池上 彰/著 発行/SBクリエイティブ
- 『地政学でわかるわたしたちの世界』ティム・マーシャル/著 発行/評論社
- 『イラスト京都御所』下間 正隆絵と文 発行/京都新聞出版センター
- 『すごいぞ!はたらく知財』内田 朋子/著 発行/晶文社
- 『西国四十九薬師霊場』発行/京都新聞出版センター
- 『京・瞬・歓』中田 昭/著 発行/京都新聞出版センター
- 『京都で育まれてきた日本の伝統と文化』発行/京都新聞出版センター
- 『世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本』池上 彰/監修 発行/学研プラス
- 『ひと目でわかる地球環境のしくみとはたらき図鑑』トニー・シュニパー/著 発行/創元社
- 『マンガでわかる!10代に伝えたい人生を前に進める名言集』定政 敬子/著 発行/大和書房
- 『京都ひろいよみ vol.5(2019年4~2020年9月)』発行/京都新聞出版センター
- 『京都ひろいよみ vol.6(2019年10~2020年3月)』発行/京都新聞出版センター



- 『街道でめぐる滋賀の歴史遺産』発行/サンライズ出版
- 『近江の能』井上 由理子/著 発行/サンライズ出版



『すばらしい海洋生物の世界』
カラム・ロバーツ/著 発行/創元社



- 『レッド あかくてあおいクレヨンのはなし』
マイケル・ホール/著 発行/子どもの未来社



今年は、124年ぶりに2月2日が節分です。節分といえば恵方巻きを食べる人が多いと思います。最近では全国区になった恵方巻きですが、昔は関西だけの風習でした。「大阪の節分には、太巻きにかじりつく風習がある」と聞いたセブンイレブンが、恵方巻きを商品とした売り出したことで、全国区になりました。もともとは大阪発祥の風習と言われていますが、その起源の定説は不明です。「節分の夜に、恵方に向かって願いごとを思い浮かべながら丸かぶりすると願いがかなう」といわれています。恵方とは、その年の福德を司る歳徳神（としとくじん。年神様の別称）のいる方角で、その方角に向かって事を行えば何事も吉とされています。2021年の恵方は、南南東です。

